

FIRSTCOM

マルチバンドハンディレシーバー

FC-S117

取扱説明書

<保証書付>



FC-S117をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

はじめに

簡単受信

マニュアル操作

メモリー登録

その他の機能

受信エリア

その他

目次

1. 安全についてのご注意とお知らせ	3
2. 主な特長	5
3. 梱包内容	5
4. 各部の名称とはたらき	6
5. ご使用になる前に	9
6. 操作方法	11
ステップ1 (簡単受信を試みましょう)	11
①音量の調整とスケルチの調整	13
②受信エリア内をオートサーチする	13
③受信エリア内をマニュアルサーチする	15
ステップ2 (マニュアル操作にチャレンジしましょう)	16
①マニュアル入力受信	16
②受信モードの設定	17
③チャンネルステップの設定	18
④ディレイ時間の設定	19
⑤受信アッテネーターの設定	20
ステップ3 (メモリー登録をしましょう)	21
①メモリーの構成と登録方法	21
②グループ別チャンネルメモリーの登録と受信方法	22
③エリアメモリーの登録と受信方法	24
④パスメモリーの登録	26
⑤メモリーの消去	27
⑥パスメモリーの消去	29
ステップ4 (その他の機能も使ってみましょう)	30
①プログラム受信	30
②プライオリティ受信	31
③盗聴電波の受信	34
④音声ガイド機能	35
⑤バックライト点灯機能	35
⑥オートスタート機能	36
⑦ブザー音ON/OFF機能	36
⑧初期化機能	37
7. 登録済みの受信エリア	39
8. 故障とお考えになる前に	41
9. 主な仕様	42
保証規定	43
保証書	裏表紙

1.安全上のご注意とお知らせ (必ずお読みください)

お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を正しくお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を記載しています。

安全上のご注意

誤った使い方による危害や損害の大きさを「**△警告**」と「**△注意**」に区別し、お守りいただく内容を絵表示で説明しています。

絵表示について

△ の表示は注意を促す内容があることを表しています。

⊘ の絵表示は行為の禁止 (してはいけない) 内容を表しています。

! の絵表示は行為の指示・強制 (しなければいけない) 内容を表しています。



警告

警告を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性があります。

- ⊘** 自動車、自転車など乗り物を運転中に操作しないでください。
運転中の操作は交通事故の原因になります。
- ⊘** 人ごみの中では使用しないでください。
アンテナなどが他の人に当たり、けがの原因になります。
- ⊘** 風呂場などの水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。
本機は防水構造ではありませんので、水がかかった場合はすぐにふき取ってください。
- ⊘** 分解や改造はしないでください。
本機は精密部品を多数搭載していますので、分解や改造を加えますと故障・感電の原因となります。
- !** 雷が鳴り始めたら本機の使用を中断してください。
感電の原因となります。
- ⊘** 定格以外の電圧で使用しないでください。
異常に発熱し、火災や感電、故障の原因になります。
- ⊘** シガープラグコードを使用する場合は、指定以外のものは使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。
- ⊘** シガープラグコードを傷つけたり、加工しないでください。
火災や感電の原因になります。
- ⊘** 煙がでる、異臭がするなど異常な状態のまま使用しないでください。
火災や感電の恐れがあります。直ちに電源を切り電池やシガープラグコードを外してください。修理は販売店に依頼してください。

注意

注意を無視して誤った取り扱いをすると、傷害や物的損害を負う可能性があります。

- ⊘ 振動や衝撃を加えないでください。
故障の原因になります。
- ⊘ テレビ・ラジオなどの電子機器から離れた場所で使用してください。
電波障害により正常に動作しない可能性があります。
- ⊘ 規定範囲内の温度条件でお使いください。
規定外の温度内で使用すると異常動作や故障の原因になります。
- ⚠ 電池は極性に注意して正しく入れてください。
間違えて入れると、電池の破裂・液漏れにより、けがや故障の原因になります。
- ⚠ 新・旧の電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂や液漏れにより、けがや故障の原因になります。
- ⚠ 長時間ご使用にならない場合は、シガープラグコードを抜いてください。
感電や漏電火災の原因になります。
- ⚠ 長時間ご使用にならない場合は、電池を取り外してください。
電池の液漏れにより故障の原因となります。
- ⊘ イヤホンをご使用になるときは、音量に注意してください。
大きな音量で長時間続けて聞いていると、聴覚に障害を与える可能性があります。

お知らせ

- 電波法をお守りください。
この製品を使用するのに特別な資格や免許は必要ありませんが、傍受した内容において電波法第59条により特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受し、その存在もしくは内容を第三者に漏らしたり窃用することが禁止されています。厳重に注意してください。

使用上の注意

- 本機は日本国内向けの仕様となっています。海外ではご使用になれません。
- 音声や雑音とは違う信号音を受信することがあります。
本機はアナログ通信を受信対象としていますので、デジタル通信や制御チャンネル通信を受信することはできません。(音声で聞くことはできません)
- 内部干渉により指定帯域外の電波を受信することがあります。
- 使用場所により受信できない場合があります。
地下の駐車場やトンネル内などの電波が遮断された場所、電波のとどかない山間部、強い電波が発信されている放送局の近辺では受信できない場合があります。

2. 主な特長

- **65MHz～470MHzの高感度受信機**
受信機能をコンパクト・ボディに集約。65MHz～470MHzのワイドな情報を高感度でキャッチします。
- **聞きたい受信エリアを簡単受信**
受信エリアをジャンル別に分けてプリセットバンクに登録していますので、聞きたい受信エリアを簡単に呼び出してオートサーチします。
- **多彩で実用的なメモリーバンク**
チャンネルメモリーは最大400チャンネル、エリアメモリーは最大10エリアをメモリーバンクに登録できます。その他不要なチャンネルを回避するパスメモリー、目的のチャンネルを優先受信するプライオリティチャンネルも搭載しています。
- **音声ガイド機能搭載**
特定のチャンネル(盗聴電波や警察無線など)を受信した場合は、音声ガイドで受信をお知らせします。
- **検問モード**
検問モード中は複数の警察関係の無線を受信した場合、検問が行われている可能性が高いと判断して、液晶バックライトと音声ガイドで警告します。
- **盗聴電波専用エリア搭載**
無線式盗聴器によく使用されているチャンネルと全チャンネルをそれぞれ専用エリアに搭載しています。
- **全国の防災・行政・消防・救急無線専用エリア搭載**
災害や事故現場などで飛び交う生情報をいち早くキャッチできます。

3. 梱包内容

受信機本体



ラバーアンテナ



ベルトクリップ

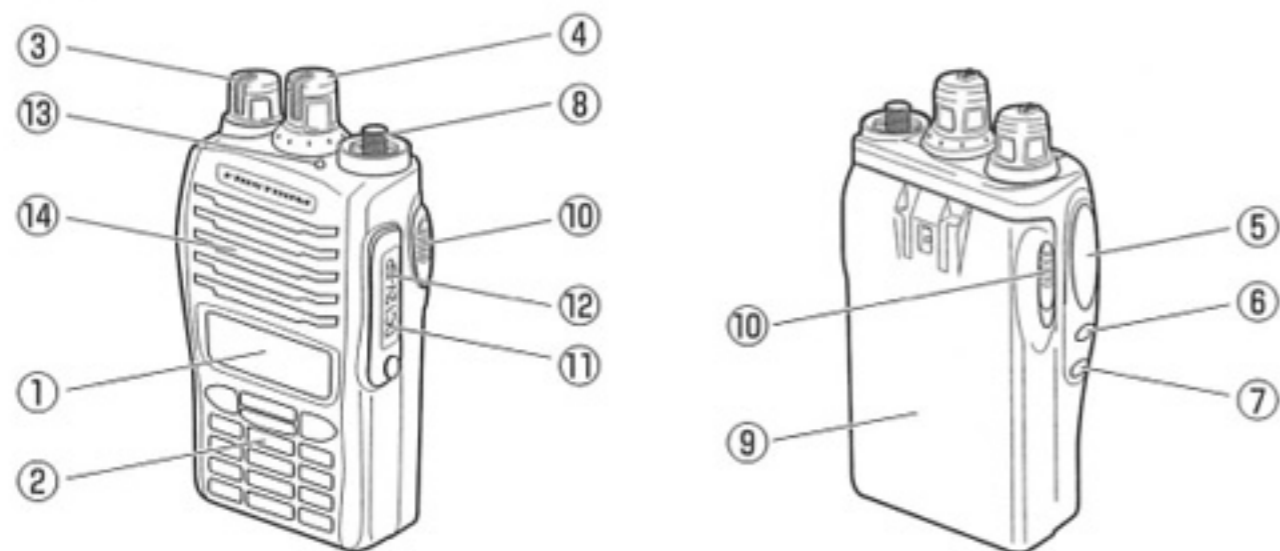


イヤホン



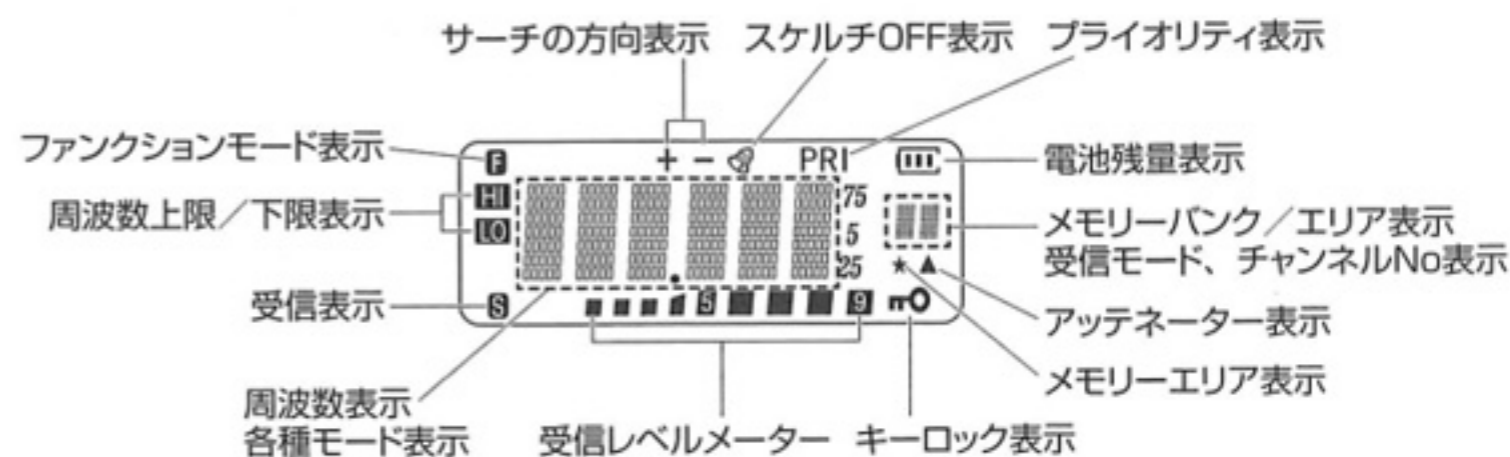
取扱説明書(保証書)

4. 各部の名称とはたらき

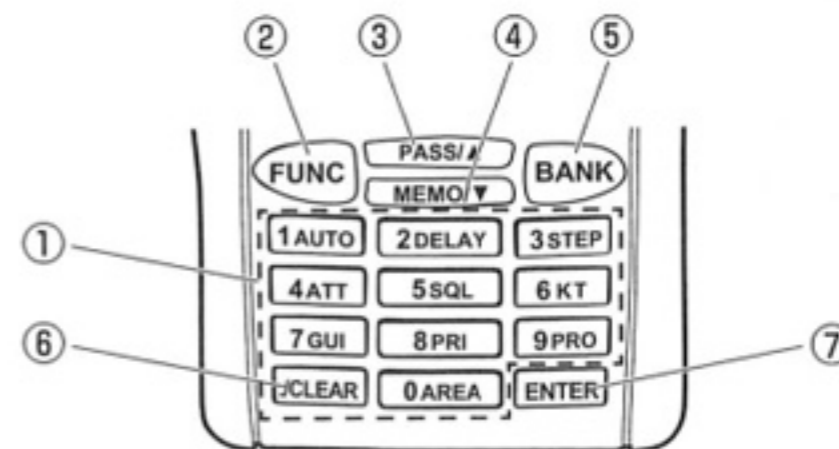


① 液晶ディスプレイ	周波数・チャンネルステップ・受信モードなどの表示や各動作モードを表示します。
② キーパッド	受信エリア・周波数などを指定するテンキーと各種機能ボタンがあります。
③ 電源／ボリューム	電源を ON / OFF します。電源 ON 後時計回りに回すと音量が大きくなります。
④ エンコーダー	周波数の設定や各種機能の設定に使用します。
⑤ スタート／ストップボタン	オートサーチ（自動選局）の開始 / 停止をします。
⑥ ライト／キーロックボタン	液晶・キーパッドのバックライトを点灯します。また、ボタン長押しでキーパッドをキーロックして誤操作を防止します。
⑦ スケルチ OFF ボタン	ボタンを押している間はスケルチを OFF します。
⑧ アンテナ入力端子	付属のラバーアンテナを接続します。
⑨ バッテリーケース	単四電池 6 本を収納します。
⑩ ロック	バッテリーケースを取り外す場合に使用します
⑪ 外部電源ジャック	別売のシガープラグコードを接続します。
⑫ イヤホンジャック	付属のイヤホンを接続します。イヤホンを接続するとスピーカーからは音が出ません。
⑬ レシーバインジケータ	FN (FMナロー) : 緑色点灯 FW (FMワイド) : 赤色点灯 AM : 赤・緑同時点灯
⑭ スピーカー	

<ディスプレイ表示内容>

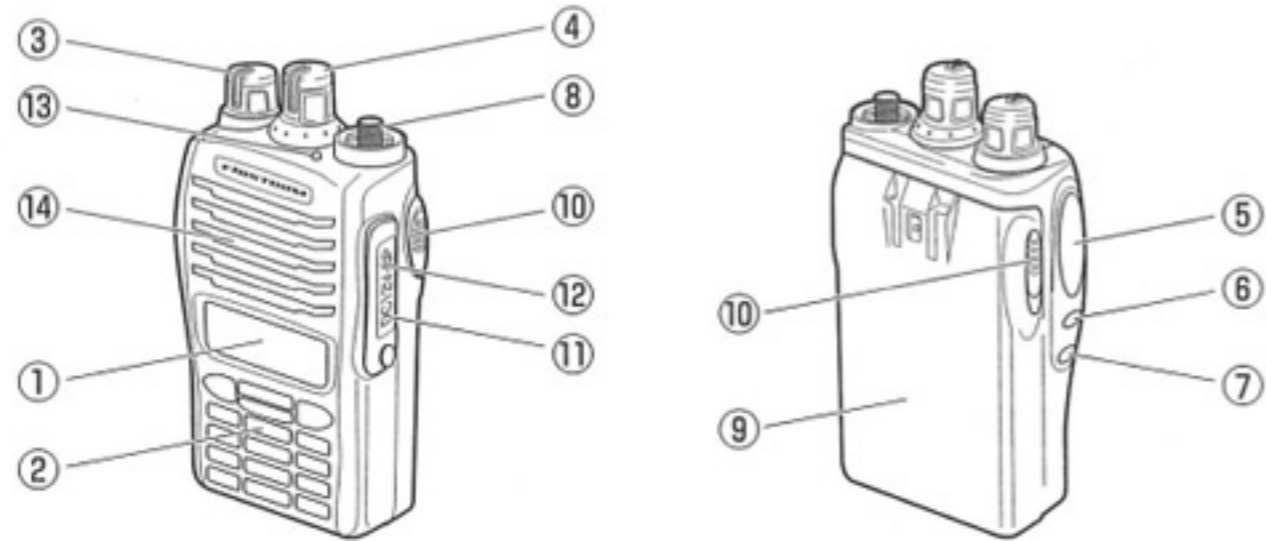


<キーパッド>



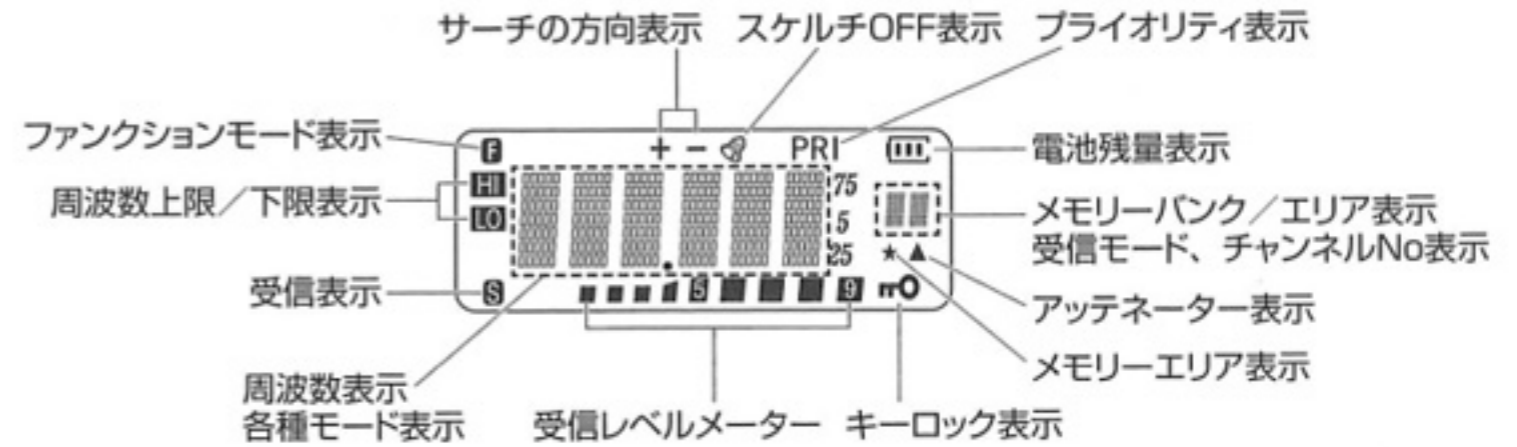
① テンキー（数字キー）	周波数・受信エリア番号・メモリーチャンネルの指定。ファンクションモード時は各機能ボタンとして使用します。
② ファンクションボタン	ファンクションモードにします。（表1参照）
③ パス／アップボタン	オートサーチ中に短押しするとアップ方向にサーチします。また、ボタンの長押しで表示チャンネルをパスメモリーに登録します。
④ メモ／ダウンボタン	オートサーチ中に短押しするとダウン方向にサーチします。また、ボタンの長押しで表示チャンネルをメモリーバンクに登録します。メモリーバンクの選択を行います。
⑤ バンクボタン	プリセットのバンクの選択を行います。ファンクションモード時は受信モードの切り換えを行います。
⑥ クリアーボタン	各種設定モードの解除を行います。また、周波数入力時の取消しを行います。
⑦ エンターボタン	周波数の確定、各設定の完了およびメモリーチャンネルの指定を行います。

4. 各部の名称とはたらき

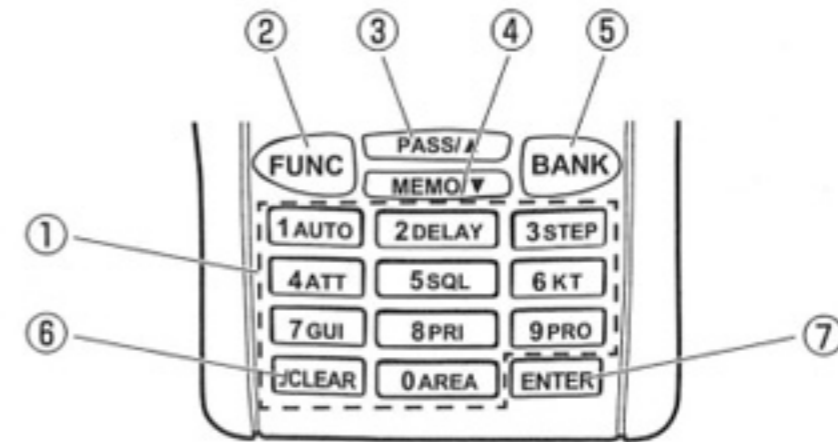


① 液晶ディスプレイ	周波数・チャンネルステップ・受信モードなどの表示や各動作モードを表示します。
② キーパッド	受信エリア・周波数などを指定するテンキーと各種機能ボタンがあります。
③ 電源／ボリューム	電源を ON / OFF します。電源 ON 後時計回りに回すと音量が大きくなります。
④ エンコーダー	周波数の設定や各種機能の設定に使用します。
⑤ スタート／ストップボタン	オートサーチ（自動選局）の開始 / 停止をします。
⑥ ライト／キーロックボタン	液晶・キーパッドのバックライトを点灯します。また、ボタン長押しでキーパッドをキーロックして誤操作を防止します。
⑦ スケルチ OFF ボタン	ボタンを押している間はスケルチを OFF します。
⑧ アンテナ入力端子	付属のラバーアンテナを接続します。
⑨ バッテリーケース	単四電池 6 本を収納します。
⑩ ロック	バッテリーケースを取り外す場合に使用します
⑪ 外部電源ジャック	別売のシガープラグコードを接続します。
⑫ イヤホンジャック	付属のイヤホンを接続します。イヤホンを接続するとスピーカーからは音が出ません。
⑬ レシーバインジケータ	FN (FMナロー) : 緑色点灯 FW (FMワイド) : 赤色点灯 AM : 赤・緑同時点灯
⑭ スピーカー	

<ディスプレイ表示内容>



<キーパッド>



① テンキー（数字キー）	周波数・受信エリア番号・メモリーチャンネルの指定。ファンクションモード時は各機能ボタンとして使用します。
② ファンクションボタン	ファンクションモードにします。（表1参照）
③ パス／アップボタン	オートサーチ中に短押しするとアップ方向にサーチします。また、ボタンの長押しで表示チャンネルをパスメモリーに登録します。
④ メモ／ダウンボタン	オートサーチ中に短押しするとダウン方向にサーチします。また、ボタンの長押しで表示チャンネルをメモリーバンクに登録します。メモリーバンクの選択を行います。
⑤ バンクボタン	プリセットのバンクの選択を行います。ファンクションモード時は受信モードの切り換えを行います。
⑥ クリアーボタン	各種設定モードの解除を行います。また、周波数入力時の取消しを行います。
⑦ エンターボタン	周波数の確定、各設定の完了およびメモリーチャンネルの指定を行います。

ファンクションボタンによる動作一覧 (表1)

	FUNC ボタン後の操作	動作
FUNC →	1 AUTO	オートスタート時間設定
	2 DELAY	ホールド・ディレイ時間設定
	3 STEP	チャンネルステップ設定
	4 ATT	アッテネーター ON / OFF
	5 SQL	スケルチ値設定
	6 KT	操作時のブザー音 ON / OFF
	7 GUI	音声ガイド ON / OFF
	8 PRI	プライオリティ受信 ON / OFF
	9 PRO	プログラム受信設定
	0 AREA	エリアメモリー設定
	BANK	受信モード設定
	/CLEAR	プライオリティ消去
	PASS▲	バスメモリー消去
	MEMO▼	チャンネルメモリー消去
	スケルチOFF	スケルチ常時 ON / OFF
ライト	バックライト常時点灯 ON / OFF	


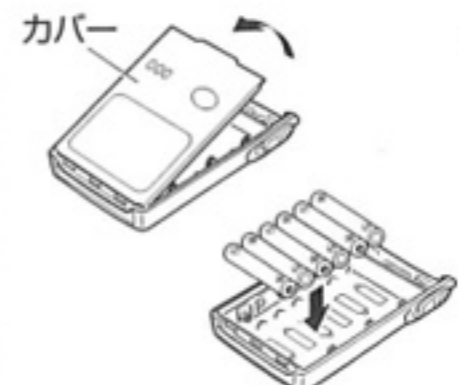

FUNC ボタンを押してから5秒間、ファンクションモードになります。
 ファンクションモード中は[F]マークが点灯します。
 [F]マーク点灯中の5秒間が有効となります。

5. ご使用になる前に

1. 電源について

本機の電源は別売の乾電池(単四形 6本)を使用します。アルカリ乾電池の場合は、受信待受時で約12時間連続使用できます。また、別売のシガープラグコード(DC-3)により車のシガー電源(DC12V)、ACアダプター(AC-1)により家庭用電源(AC100V)を利用することができます。
 ※シガープラグコード、ACアダプターを使用する場合は、必ず本機の電源を切ってから接続してください。

2. 乾電池の入れ方

①バッテリーケースを取り外します。	②電池を入れます。	③バッテリーケースを取り付けます。
バッテリーケース両側面のロックをスライドすると、本体のロックが外れて、バッテリーケースが外れます。 	バッテリーケースのカバーを外し、単四形乾電池を6本、極性(+/-)を間違えないように入れて、カバーを元にもどします。 	バッテリーケースの爪を本体底面の穴に合わせ、「カチッ」とロック音がするまでバッテリーケースを押さえます。 

3. ベルトクリップの取付け

付属のベルトクリップは縦向きに取付けます。

- ①ベルトクリップのガイドを本体背面のスリットに合わせます。
- ②カチッと音がして完全にロックするまで下側へスライドさせてください。



4. ラバーアンテナの取り付け方

本体上部のアンテナ端子に付属のラバーアンテナを合わせ、時計回り方向にねじ込んで固定してください。



5. イヤホンで聞く場合

- イヤホンをご使用になる場合は、必ず音量を下げてからイヤホンを接続してください。
- 大きな音量で長時間続けて聞かないでください。

- ①電源/ボリュームを反時計回りに回して音量を下げます。
- ②本体側面の防水カバーを開き、イヤホンジャックに付属のイヤホンを接続します。
- ③イヤホンを装着した後、電源/ボリュームを回して適度な音量に調整してください。



6. 車のシガー電源でご使用になる場合

車のシガー電源(DC12V)でご使用になるときは、別売のシガープラグコードをシガーライターソケットと本体側面の外部電源ジャックに接続します。



6. 操作方法

本機にはバンクモード、メモリーモード、マニュアルモードの3種類のモードがあります。

(1) バンクモード

BANK ボタンを押すとバンクモードになります。
バンクモードには、よく聞くエリアを30エリア(3バンク×10エリア)に分けて登録してあります。(P.12参照)

(2) メモリーモード

MEMO/▼ ボタンを押すとメモリーモードになります。
メモリーモードには、任意の周波数または周波数帯を登録可能です。(P.21参照)

(3) マニュアルモード

ENTER ボタンを押すとマニュアルモードになります。
マニュアルモードでは、**テンキー**で入力した周波数を受信可能です。(P.16参照)

ステップ1 <簡単受信をしてみましょう>

バンクモードには、よく聞くエリアを30エリア(3バンク×10エリア)に分けて登録してあります。
お聞きになりたいエリアを、簡単に呼び出して受信できます。

バンクモードの登録エリア一覧

バンク	エリア番号	受信エリア
A	1	盗聴電波 9チャンネル
	2	盗聴電波 全チャンネル
	3	小電力コードレス電話
	4	アマチュア無線 VHF/UHF帯
	5	パチンコ無線 業務無線(ファーストフード等)
	6	ギャンブル無線
	7	レース無線・サーキット無線
	8	コンサートワッチ
	9	各種業務無線・簡易無線
	0	タクシー無線

バンクモードの登録エリア一覧

バンク	エリア番号	受信エリア
B	1	カーロケーター無線 (デジタル受信)
	2	交通取締連絡無線
	3	警察 VHF 移動局 (パトカー無線, デジタル受信)
	4	警察部隊活動系 (デジタル受信)
	5	警察署活系移動局 (デジタル受信)
	6	取締特小無線 (シートベルト)
	7	ヘリコプター無線 (警察・消防・マスコミ)
	8	レッカー無線
	9	検問モード (一部デジタル受信)
	0	道路公団・JAF・警備
C	1	バス・鉄道・ライフライン (一部デジタル受信)
	2	FMラジオ放送
	3	報道連絡波・特定小電力トランシーバー
	4	防災行政無線 (下表参照)
	5	航空無線
	6	消防・救急 (北海道地区)
	7	消防・救急 (東北-北陸地区)
	8	消防・救急 (関東-東海地区)
	9	消防・救急 (中部-近畿地区)
	0	消防・救急 (四国-中国-九州地区)

主に使用されている防災行政無線の周波数一覧 (参考)

1	68.205MHz	11	68.580MHz	21	69.090MHz	31	69.435MHz
2	68.220MHz	12	68.595MHz	22	69.105MHz	32	69.450MHz
3	68.280MHz	13	68.610MHz	23	69.120MHz	33	69.465MHz
4	68.295MHz	14	68.805MHz	24	69.135MHz	34	69.480MHz
5	68.415MHz	15	68.820MHz	25	69.150MHz	35	69.495MHz
6	68.505MHz	16	68.835MHz	26	69.165MHz	36	69.705MHz
7	68.520MHz	17	68.850MHz	27	69.180MHz	37	69.720MHz
8	68.535MHz	18	68.865MHz	28	69.195MHz	38	69.735MHz
9	68.550MHz	19	68.880MHz	29	69.405MHz	39	69.750MHz
10	68.565MHz	20	68.895MHz	30	69.420MHz	40	69.765MHz

① 音量の調整とスケルチの調整

操作方法

1 電源を入れます

電源を入れるには、**電源/ボリューム** を時計回りに回してください。電源が入ると、液晶ディスプレイが表示します。

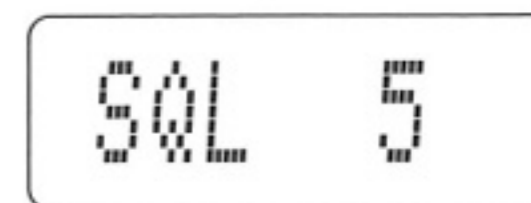
2 音量を調節します

電源/ボリューム を時計回りに回して、適度な音量に調節します。



3 スケルチを調節します

FUNC ボタンを押し、続けて **5 SQL** ボタンを押し、**エンコーダー** を回して、ザー音が止まる位置に調整します。



ちょっと一言

スケルチの設定を大きくし過ぎると、オートサーチ中に弱い電波を受信できなくなります。また、小さくし過ぎるとオートサーチしなくなります。

② 受信エリア内をオートサーチする

登録済みのエリアをオートサーチして、チャンネルを受信する。

操作方法

(例)バンク **A** のエリア **3** に登録してある (小電力コードレス電話) を、オートサーチして聞く。

1 バンク **A** を指定します

バンクを指定するには **BANK** ボタンを押してください。**BANK** ボタンを押すたびにバンクが **A** → **B** → **C** → **A** → … と替わります

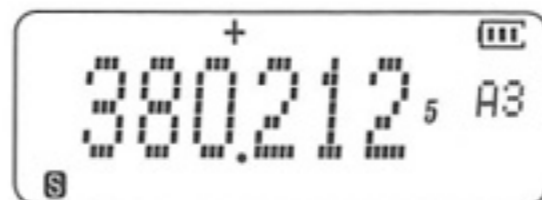
2 エリア **3** を指定します

エリアを指定するには対応する **テンキー** を押してください。エリア **3** を指定するには、**3** を押してください。

3 オートサーチします

START/STOP ボタンを押すとオートサーチが開始します。

オートサーチが開始されると、液晶ディスプレイ上の周波数表示の上部に、“+”または“-”マークが表示されます。



ちょっと一言

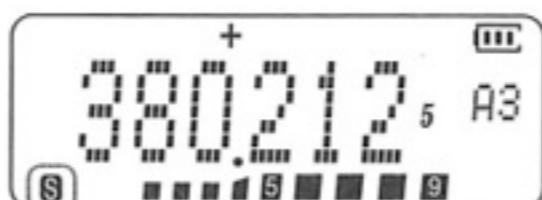
“+”または“-”マークはオートサーチの方向を表します。
“+”マークは周波数が小さいものから大きいものへ、“-”マークは周波数が大きいものから小さいものへ順にサーチします。オートサーチの方向は、**PASS/▲** ボタン、**MEMO/▼** ボタン、**エンコーダー** で変更できます。

4 チャンネルを受信します

通話中のチャンネルがあると、そのチャンネルでオートサーチを停止し、受信状態になります。

受信状態では「S」が点灯します。

また、受信した電波の強さに応じてレベルメーターが点灯します。



受信マーク

5 受信が終了すると再度オートサーチを開始します

受信中のチャンネルが終了する、または電波が非常に弱くなって受信できなくなると、設定された時間分待機した後、オートサーチを再開します。

受信状態が悪くなって音声途切れる場合は、スケルチOFFボタンを押してください。

ボタンを押している間は受信状態が改善することがあります。

スケルチがOFF時はディスプレイに「📶」と表示されます。

ご注意 ディレイ時間がHOLD設定の場合、または“+”“-”マークが消えている場合はオートサーチを再開しません。
オートサーチを行う場合は**START/STOP** ボタンを押してください。
受信が終了する前にオートサーチを再開したい場合は+または-ボタンをおしてください。

ちょっと一言

チャンネル受信終了後オートサーチを再開するまでの時間をディレイ時間と言います。
ディレイ時間の設定 (P19) によって電波受信終了後のオートサーチ再開までの時間を変更可能です。

・2SEC/6SEC /10SEC/HOLD

③ 受信エリア内をマニュアルサーチする

登録済みのエリアをマニュアル操作でサーチします。

操作方法

1 「① 音量の調整とスケルチの調整」(P.13)を参照してください

2 バンクを指定します

3 エリアを指定します

4 マニュアルサーチします

受信チャンネルを変更するには、**エンコーダー** を回してください。

設定されたチャンネルステップ毎に受信チャンネルが移動します。

時計回りはチャンネルがアップ、反時計回りはチャンネルがダウンします。

ステップ2 <マニュアル操作にチャレンジしましょう>

① マニュアル入力受信

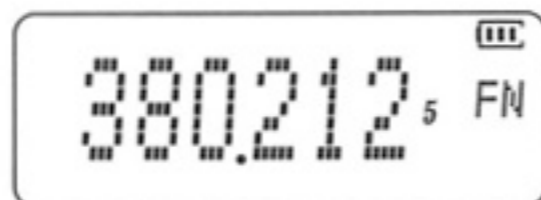
お聞きになりたい周波数を **テンキー** より入力し、ダイレクトにその周波数を受信します。

操作方法

(例) 118.000MHzのチャンネルをダイレクトに受信する。

1 マニュアルモードにします

ENTER ボタンを押します。
マニュアルモードに切り替わります。

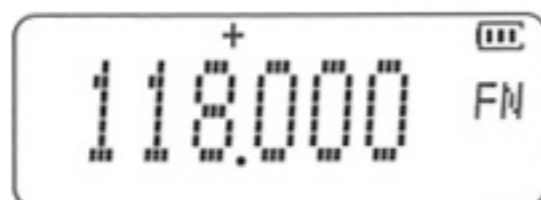


2 受信したい周波数 (118.000MHz) を入力します

本機の **1 1 8 . / CLEAR 0 0 0 ENTER** と順に入力します。

3 入力した周波数を確定します

入力した周波数を確定するには、**ENTER** ボタンを押します。
入力したチャンネルで受信待ち受け状態になります。



マニュアルモードを解除する時は **BANK** ボタンを押します

ちょっと一言

入力した周波数がチャンネルステップと一致しない場合、チャンネルステップは周波数と一致するものに変更されます。

たとえば、チャンネルステップが5KHzに設定されているときに450.0125MHzを入力すると、チャンネルステップは12.5KHzに変更されます。

登録済みのどのチャンネルステップとも周波数が一致しない場合は、周波数が自動修正されます。登録されているチャンネルステップは、5KHz、6.25KHz、10KHz、12.5KHz、20KHz、25KHz、50KHz、100KHzの8種です。

ご注意 マニュアルモードで入力可能な周波数の範囲は65~470MHzです。

② 受信モードの設定

受信モードをAM、FM(FMナロー)、WFM(FMワイド)の3種類から切り替えられます。

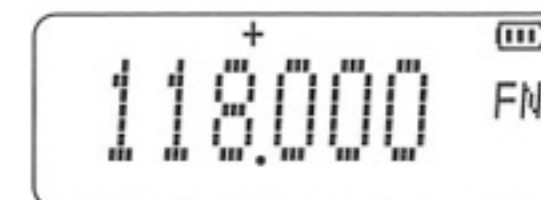
本機はFMモードを「FN」、WFMモードを「FW」と表示します。

操作方法

(例) マニュアルモードで受信モードをFMからAMに切替えてオートサーチする。

1 マニュアルモードにします

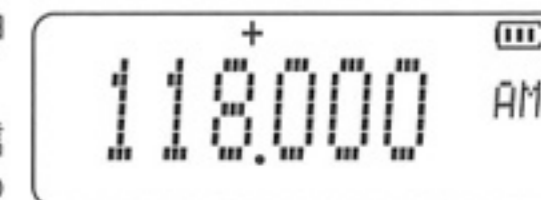
ENTER ボタンを押します。
マニュアルモードに切り替わります。



2 受信モードをAMに変更します

受信モードを変更するには、**FUNC** ボタンを押し、続けて **BANK** ボタンを押します。

FUNC → **BANK** ボタンを押すたびに、受信モードがAM→FN→FW→AM→…と切り替わります。



3 オートサーチします

START/STOP ボタンを押すとオートサーチが開始します。

4 マニュアルモードを解除するときは **BANK** ボタンを押します。

マニュアルモードからバンクモードに切替わります。

ご注意 受信エリアと受信モードがあっていない場合、音声に変化する、受信できないなどの不都合が起こることがあります。この場合、正常な音声で聞こえるように、受信モードを切替えてください。

③ チャンネルステップの設定

チャンネルステップを 5、6.25、10、12.5、20、25、50、100KHz の中から切り替えられます。

操作方法

(例) マニュアルモードのチャンネルステップを 25 KHz に変更してオートサーチする。

1 マニュアルモードにします

ENTER ボタンを押します。

2 マニュアルモードに切り替わります。

3 チャンネルステップを 25KHz に変更します

チャンネルステップを変更するには、**FUNC** ボタンを押し、続けて **STEP** ボタンを押し、次に **エンコーダー** で選択します。

エンコーダー を回すたびに、チャンネルステップが 6.25 → … 50 → 100 → 5 → … と切り替わります。



4 **ENTER** ボタンを押して確定します

5 オートサーチします

START/STOP ボタンを押すとオートサーチが開始します。
マニュアルモード時、チャンネルステップが 25KHz でオートサーチします。

ご注意 チャンネルステップが、受信エリアのステップ(初期設定のステップ)と合っていないと、受信できなくなる場合があります。

④ ディレイ時間の設定

オートサーチ時のディレイ時間(受信待ち時間)を 2 秒、6 秒、10 秒、ホールドから切り替えることができます。
オートサーチ時に受信が終了すると、設定した時間が経過した後オートサーチを再開します。

操作方法

(例) バンク **A** ・ エリア 1 のディレイ時間を 10 秒に変更してオートサーチする。

1 バンク **A** ・ エリア 1 を呼び出します

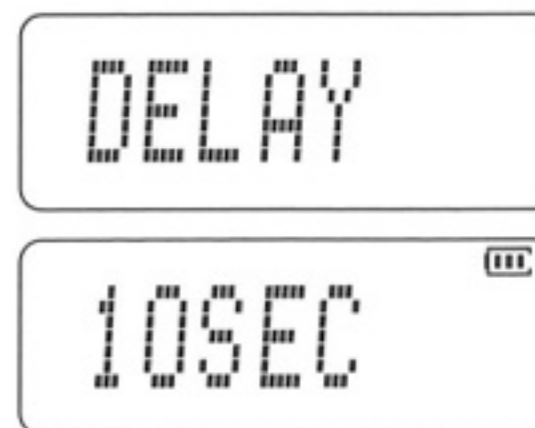
操作方法は「**ステップ 1** ① 受信エリア内をオートサーチする」(P.13) を参照してください。

バンク **A** ・ エリア 1 は、初期のディレイ時間が 6 秒になっています。

2 ディレイ時間を選択します

ディレイ時間を変更するには、**FUNC** ボタンを押し、続けて **2 DELAY** ボタンを押し、次に **エンコーダー** で選択します。**2 DELAY** ボタンを押すと、液晶ディスプレイに "DELAY" を表示後、現在のディレイ時間が表示されます。

エンコーダー を回すたびに、ディレイ時間が切り替わります。



3 ディレイ時間を確定します

選択したディレイ時間を確定するには、**ENTER** ボタンを押します。

ご注意 バンク **B** のエリア **9** とチャンネルメモリー登録したチャンネルでは、ディレイ時間の変更はできません。

4 オートサーチします

START/STOP ボタンを押すとオートサーチが開始します。
バンク **A** ・ エリア **1** をディレイ時間 10 秒でオートサーチします。

ちょっと一言

ディレイ時間をホールド "HOLD" に設定した場合は、オートサーチ中に一度電波を受信すると、受信を終了してもオートサーチを再開しません。

⑤ 受信アッテネーターの設定

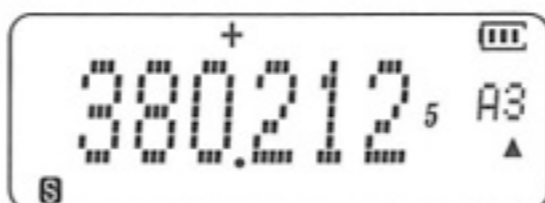
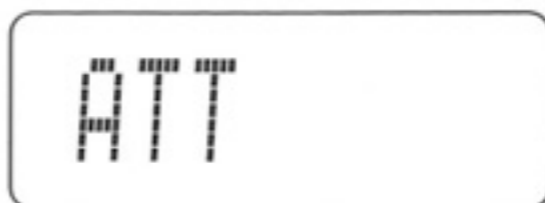
アッテネーターを使うことで、受信感度を下げることができます。
強い電波を受信した場合や、混信がひどいときにアッテネーターを ON にしてください。

操作方法

アッテネーターを ON するには、**FUNC** ボタンを押し、続けて **4 ATT** ボタンを押します。

FUNC → **4 ATT** ボタンを押すたびに、アッテネーターの設定が OFF → ON → OFF → … と切り替わります。

アッテネーターが ON になっていると ▲ マークが液晶ディスプレイに表示されます。



設定	表示
ON	▲
OFF	なし

ステップ3 <メモリー登録をしよう>

① メモリーの構成と登録方法

本機には、大容量のメモリーバンクを3バンクに分けることにより、使用頻度や目的に応じてメモリー登録できます。

その他、不要な周波数をパスするパスメモリーや、特定の周波数を優先受信するプライオリティチャンネルがあります。

メモリーの構成

メモリーバンク	メモリー数	メモリー登録
D	200 チャンネル	チャンネルメモリー
E	200 チャンネル	チャンネルメモリー
F	10 エリア	エリアメモリー

その他のメモリー	メモリー数	メモリー登録
パスメモリー	100 チャンネル	
プライオリティ	10 チャンネル	

メモリーの登録

メモリーバンクへのメモリー登録は、2つの方法があります。

- (1) 周波数をグループ別にメモリー登録します。メモリーバンクのメモ[D]、[E]にメモリー登録します。メモ[D]、[E]には[0]~[9]の10エリアそれぞれに00CH~19CHまで20チャンネル登録できます。
- (2) 受信エリア(周波数範囲)をメモリー登録する→エリアメモリー
メモリーバンクのメモ[F]にメモリー登録します。
メモ[F]には[0]~[9]の10エリア登録できます。

② グループ別チャンネルメモリの登録と受信方法

特定の周波数をメモ[D][E]に登録することができます。
使用頻度や目的に応じて、グループ別に分類してメモリー登録しておく、簡単に呼び出すことができます。

メモリーの登録方法

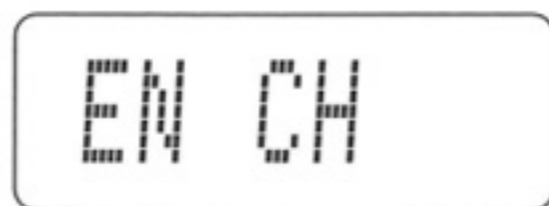
(例)周波数76.100MHzを、メモ[E]のエリア②の10CHに登録する場合

1 周波数76.100MHzを表示します

まず[ENTER]ボタンを押しマニュアルモードにします。
次に本機から[7][6][.] [CLEAR] [1][0][0] [ENTER]の順に入力します。
入力を間違った場合は、[.] [CLEAR] ボタンを押して再度入力してください。

2 チャンネルメモリ登録に入ります

チャンネルメモリ登録に入るには、
[MEMO/▼] ボタンを1秒以上押してください。
チャンネルメモリ登録に入ると、
液晶ディスプレイに“EN CH”と表示されます。



3 メモ[E]を指定します

メモ[E]を指定するには、バンク表示が点滅している状態で[MEMO/▼] ボタンを押してください。
[MEMO/▼] ボタンを押すたびに、メモ[D]⇄[E]と交互に切り替わります。

4 エリア②を指定します

エリア②を指定するには、エリア表示が点滅している状態で[テンキー]の[2] ボタンを押した後、
[ENTER] ボタンを押してください。



5 10CHを指定します

チャンネルを変更するには、メモリーチャンネル表示が点滅している状態で[エンコーダー]を回します。
[エンコーダー]を回し、チャンネルを10CHに合わせてください。



6 周波数を登録します

指定したチャンネルに登録するには、[ENTER] ボタンを押してください。

ご注意 すでにエリアメモリーが登録されているエリアに、チャンネルメモリーを登録した場合は上書きされます。

メモリーモードの受信方法

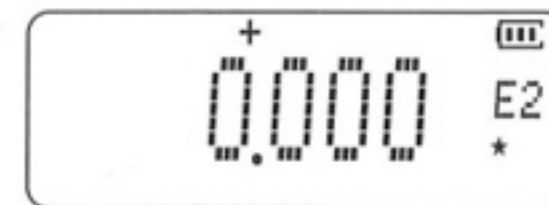
チャンネルメモリ登録した周波数を呼び出して受信します。
(例)メモ[E]のエリア2の10CHに登録した周波数を受信する場合

1 メモ[E]を指定します

メモ[E]を指定するには、バンク表示が点灯している状態で[MEMO/▼] ボタンを押してください。
[MEMO/▼] ボタンを押すたびに、メモ[D]→[E]→[F]→[D]…と切り替わります。

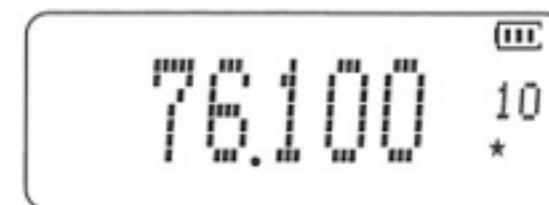
2 エリア②を指定します

エリア②を指定するには、エリア表示が点灯している状態でテンキーの[2] キーを押してください。



3 10CHを指定します

チャンネルを変更するには、メモリーチャンネル表示が点灯している状態で[エンコーダー]を回します。
[エンコーダー]を回し、チャンネルを10CHに合わせてください。



※メモリーモードを終了するには[BANK] ボタンまたは[ENTER] ボタンを押してください。

③ エリアメモリの登録と受信方法

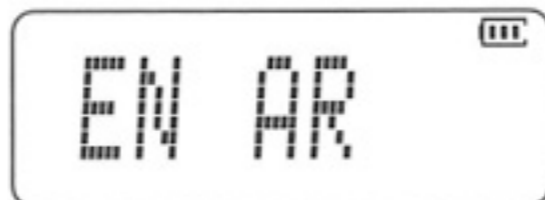
特定の受信エリア(受信周波数範囲)をメモ[F]に登録することができます。
受信エリアは、メモ[F]エリア0~9の10エリアに登録できます。

メモリの登録方法

(例) 108.100~170.300MHzの範囲を、メモ[F]のエリア[5]に登録する場合

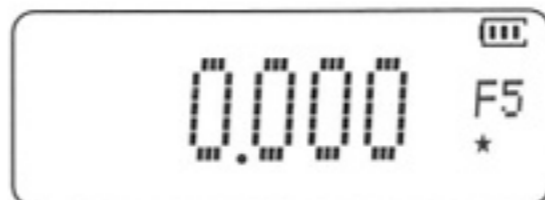
1 エリアメモリ登録モードに入ります

エリア登録中に入るには、**[FUNC]** ボタンを押し、
続けて **[0 AREA]** ボタンを押します。
エリア登録モードに入ると液晶ディスプレイに
“EN AR” と表示されます。



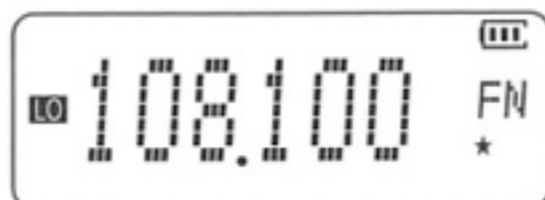
2 エリア[5]を指定します

エリア[5]を指定するには、エリア表示が点滅している状態でテンキーの **[5]** キーを押した後、
[ENTER] ボタンを押してください。



3 下限周波数を入力します

本機から **[1][0][8][./CLEAR][1][0][0][ENTER]**
の順に入力します。

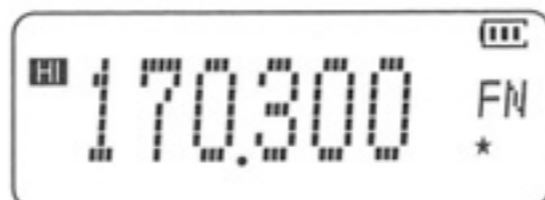


4 下限周波数を登録します

入力した下限周波数を登録するには、**[ENTER]** ボタンを押します。

5 上限周波数を入力します

本機から **[1][7][0][./CLEAR][3][0][0][ENTER]**
と順に入力します。



6 上限周波数を登録します

入力した上限周波数を登録するには、**[ENTER]** ボタンを押します。

ちょっと一言

受信可能な受信エリアの範囲は、65~470MHzです。
エリア登録モードは20秒間の無操作で終了します。

メモリの受信方法

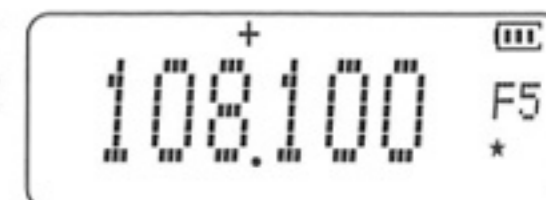
エリアメモリ登録した受信エリアを呼び出して受信します。
(例)メモ[F]のエリア[5]に登録した受信エリアを受信する場合

1 メモリーモードでメモ[F]を指定します

メモリーモードに入るには、**[MEMO/▽]** ボタンを押してください。
メモリーモード中に **[MEMO/▽]** ボタンを押すと、メモ[D]→[E]→[F]→[D]…と
切り替わります。

2 エリア[5]を指定します

エリア[5]を指定するには、エリア表示が点滅している状態で
テンキーの **[5]** ボタンを押してください。



3 オートサーチします

[START/STOP] ボタンを押すとオートサーチが開始します。

④ パスメモリーの登録

制御チャンネルなど、受信に不要な周波数をパスチャンネルに登録しておく、オートサーチ中は登録した周波数をパスします。

パスメモリーは、最大100チャンネル(00～99CH)登録できます。

メモリーの登録方法

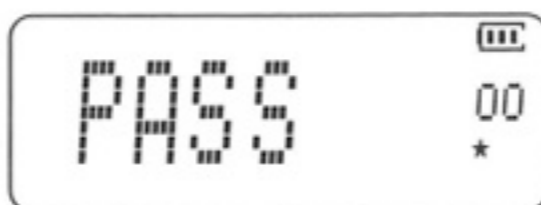
1 パスしたい周波数を表示します

バンクモードでパスしたい周波数を選択します。

2 パスメモリーに登録します

パスメモリーに登録するには、**PASS/▲** ボタンを1秒以上押ししてください。

パスメモリーに登録されると、液晶ディスプレイに“PASS”および“★”とメモリー番号が表示されます。



ご注意 マニュアルモードとメモリーモードではパスメモリーの登録は行えません。

⑤ メモリーの消去

メモリーバンクに登録した内容を消去することができます。

(1) チャンネルメモリーの個別消去

登録されているチャンネルを、個別に消去します。

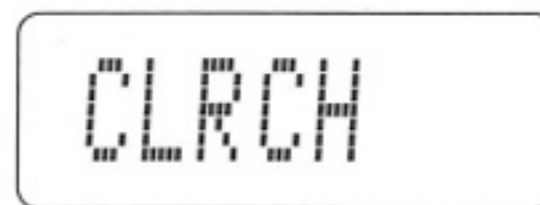
操作方法

1 チャンネルメモリー消去モードにします

チャンネルメモリー消去モードにするには、

FUNC ボタンを押し、続けて **MEMO/▼** ボタンを押しします。

液晶ディスプレイに“CLRCH”と表示されます。



2 バンクを指定します

バンクを指定するには、**MEMO/▼** ボタンを押ししてください。

MEMO/▼ ボタンを押すたびに、メモ[D]⇄[E]と交互に切り替わります。

3 エリアを指定します

エリアを指定するには、エリア表示が点滅している状態で **テンキー** を押し、

ENTER ボタンで確定します。

4 チャンネルを指定します

チャンネルを変更するには、メモリーチャンネル表示が点滅している状態で **エンコーダー** を回します。

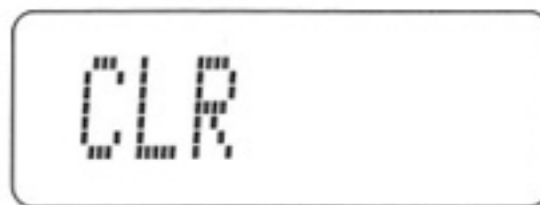
エンコーダー を回し、消去するチャンネルに合わせてください。

5 指定したチャンネルを消去します

チャンネルを消去するには、**ENTER** ボタンを押しします。

消去されると、液晶ディスプレイに“CLR”と表示されます。

※連続消去する場合は **4**～**5** を繰り返します。



ちょっと一言

チャンネル消去モードを終了させるには、**.JCLEAR** ボタンを押ししてください。また20秒間の無操作でも終了します。

(2) エリア消去

登録された受信エリアを消去します。
また、1つのエリアに登録されているチャンネルメモリーを一括して消去
できます。

操作方法

1 エリア消去モードに入ります

エリア消去モードに入るには、**FUNC** ボタンを
押し、続けて**エンコーダー**を回します。
エリア消去モードに入ると、液晶ディスプレイに
“CLRAR”と表示されます。



2 エリア消去モードを確定します

エリア消去モードを確定するには、**ENTER** ボタンを押します。
エリア消去モードを確定すると液晶ディスプレイにバンク**F**とエリア**1**と
★マークが点滅表示されます。

3 バンクを指定します。

バンクを指定するには、バンク表示が点滅している状態で**MEMO/▼**押ししてくだ
さい。

MEMO/▼を押すたびに、メモ**D**→**E**→**F**→**D**→…と切り替わります。

4 エリアを指定します

エリアを指定するには、エリア表示が点滅している状態で**テンキー**を押してくだ
さい。

5 指定したエリアを消去します

消去するには、**ENTER** ボタンを押してください。
消去すると液晶ディスプレイに“CLR”と表示さ
れます。

連続消去する場合は**3**～**5**を繰り返します。



⑥ パスメモリーの消去

登録されたパスメモリーを消去します。

操作方法

1 パスメモリー消去モードに入ります

パスメモリー消去モードに入るには、**FUNC** ボタ
ンを押し、続けて**PASS/▲** ボタンを押します。
パスメモリー消去モードに入ると、液晶ディスプレ
イに“CLR PAS”と表示されます。



2 チャンネルを指定します

チャンネルを指定するには、**エンコーダー**を回し、消去するチャンネル(周波数)
を選びます。

3 指定したパスメモリーを消去します

消去するには、**ENTER** ボタンを押してください。
消去すると液晶ディスプレイに“CLR”と表示さ
れます。

連続消去する場合は**2**～**3**を繰り返します。



4 パスメモリー消去モードを終了します

パスメモリー消去モードを終了するには、**/CLEAR** ボタンを押してください。
また、無操作が約20秒間続いた場合、自然終了します。

ステップ4 <その他の機能も使ってみましょう>

① プログラム受信

プログラム受信を使うと複数のエリアをまとめてサーチできます。
例えば、バンク[B]のエリア[3] (警察VHF移動局) →バンク[C]のエリア[1] (バス・鉄道・ライフライン) →というように複数のエリアをまとめてサーチできます。プログラム受信登録は最大8エリアまで登録できます。

操作方法

(例)バンク[B]エリア[3]→バンク[C]エリア[1]を登録受信する。

1 最初に登録するバンク・エリアを指定します

BANK ボタンでバンク[B]を指定し、**テンキー**でエリア[3]を指定します。

ご注意 マニュアルモードとメモリーモードではプログラム受信ができません。

2 プログラム受信モードに入ります

プログラム受信モードに入るには、**FUNC** ボタンを押し、次に**9 PRO** ボタンを押します。
プログラム受信モードに入ると、液晶ディスプレイに“PRO”と表示されます。

プログラム受信モード中は、最初に登録したバンクエリア表示が点滅します。

3 プログラム受信するエリアを順番に登録します

BANK ボタンでバンク[C]を指定し、**テンキー**でエリア[1]を指定します。

テンキーを押した時点でエリアが登録されます。

バンク・エリア表示は最初に登録したバンク・エリアを表示します。

※連続登録する場合は**3**を繰り返します。

ご注意 同じエリアを複数回登録することはできません。

4 サーチします

オートサーチを開始するには、**START/STOP** ボタンを押します。

マニュアルサーチを開始するには、**エンコーダー**を回します。

バンク[B]エリア[3]を受信した場合、「パトカー無線を受信しました。パトカー・覆面パトカー・白バイの追尾にお気を付け下さい。」と音声ガイドでお知らせします。

5 プログラム受信モードを終了します

プログラム受信モードを終了するには、**FUNC** ボタンを押し、次に**9 PRO** ボタンを押します。
また、電源 OFF でも終了します。

ご注意 終了するとプログラムは消去されます。

② プライオリティ受信

プライオリティ受信は、他の周波数を受信していても、特定の周波数(プライオリティチャンネル)の検索を行い、信号があれば優先受信する機能です。プライオリティチャンネルは00~09CHの10チャンネルあります。また、00CHには350.1MHz(速度取締連絡波)が初期登録されています。(01~09CHは上書きは可能です。)

プライオリティチャンネルの登録方法

(例)周波数118.000MHzを受信モードAMでプライオリティチャンネル01CHに登録する場合。

1 登録したい周波数を表示します

まず**ENTER** ボタンを押しマニュアルモードにします。

次に本機から**1 1 8** **/CLEAR** **0 0 0** **ENTER** と順に入力します。

入力を間違った場合は、**/CLEAR** ボタンを押して再度入力してください。

受信モードを変更するには、**FUNC** ボタンを押し、次に**BANK** ボタンを押します。

2 プライオリティチャンネル登録モードに入ります

プライオリティチャンネル登録モードに入るには、**FUNC** ボタンを押し、続けて**エンコーダー**を回し、“EN PRI”を選択します。

3 プライオリティチャンネル登録モードを確定します

プライオリティチャンネル登録モードを確定するには、**ENTER** ボタンを押します。

4 登録チャンネル番号を指定します

チャンネル番号を指定するには、**エンコーダー**を回し、“01”を選択します。

5 登録します

登録するには、**ENTER** ボタンを押してください。
プライオリティチャンネルの登録が完了すると、液晶ディスプレイに“EN”を表示してプライオリティ登録モードは終了します。

登録せずにプライオリティチャンネル登録モードを終了したい場合は、**/CLEAR** ボタンを押してください。

プライオリティチャンネルの受信方法

(例)プライオリティチャンネル01CHを受信する場合。

1 プライオリティ設定モードに入ります

プライオリティ設定モードに入るには、**FUNC** ボタンを押し、続けて**9 PRI** ボタンを押します。プライオリティ設定モードに入ると、“SELPRI”と表示されます。



2 チャンネルを指定します

チャンネルを指定するには、**エンコーダー**を回し、“01”を選択します。



3 プライオリティ受信を開始します

プライオリティ受信を開始するには、**ENTER** ボタンを押してください。3秒間隔でプライオリティチャンネルの信号検索を行います。

4 プライオリティチャンネルに信号があれば優先受信します

ブザー音が鳴り、液晶ディスプレイに“PRI”と表示されます。

5 プライオリティ受信を解除します

プライオリティ受信を解除するには、**FUNC** ボタンを押し、次に**9 PRI** ボタンを押します。

ご注意 プライオリティ受信を設定していると、他の周波数を受信時に約3秒間隔で受信が途切れますがこれは故障ではありません。同時に液晶ディスプレイに“PRI”と周波数が表示されます。

プライオリティチャンネルの消去方法

(例)プライオリティチャンネル01CHを消去する場合。

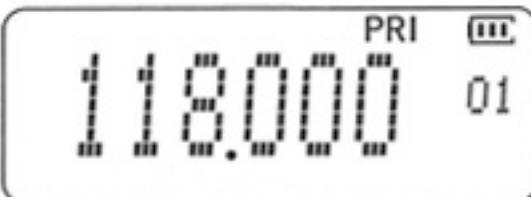
1 プライオリティチャンネル消去モードに入ります

プライオリティチャンネル消去モードに入るには、**FUNC** ボタンを押し、続けて**./CLEAR** ボタンを押します。消去モードに入ると、“CLRPRI”と表示されます。



2 消去したいチャンネルを指定します

チャンネルを指定するには、**エンコーダー**を回し、“01”を選択します。



3 消去します

消去するには、**ENTER** ボタンを押してください。液晶ディスプレイに“CLR”が表示されます。



4 プライオリティチャンネル消去モードを終了します

プライオリティチャンネル消去モードを終了するには、**./CLEAR** ボタンを押してください。また、20秒間無操作が続いた場合は、プライオリティチャンネル消去モードが自動終了します。

③ 盗聴電波の受信

無線式盗聴器の発信電波は、特定の周波数帯が使用されています。
本機は、無線式盗聴器に使用されているVHF / UHF帯のチャンネルを
バンク[A]のエリア①、②に登録されています。

バンク[A]エリア①：無線式盗聴器によく使用されている周波数

バンク[A]エリア②：無線式盗聴器に使用されている全周波数

操作方法

1 盗聴電波を受信します

盗聴電波を受信エリア(バンク[A]のエリア①、②)を呼びだし、オートサーチ
またはマニュアルサーチします。

操作については、「**ステップ1** ① 受信エリア内をオートサーチする」(P.13)
または「**ステップ1** ① 受信エリア内をマニュアルサーチする」(P.15)を参照
してください。

電波を受信した場合は音声でアナウンスします。

2 盗聴電波の強い方向を調べます

レベルメータがよく振れる方向へ進みます。

3 レベルメーターが振り切れたらアッテネーターをONにします

レベルメーターが振り切れた場合は、**FUNC** ボタンを押し、次に**4 ATT** ボタン
を押しアッテネーターをONにしてください。(P.20参照)

4 受信感度を落としながら、盗聴電波が強い方向を調べます

アッテネーターがONの状態レベルメーターが振り切れた場合は、ラバーアンテナ
を外してください。

5 盗聴器に接近すると、再度レベルメーターが振れます。

6 レベルメーターが良く振れる場所の周辺を良く調べてみてください

ちょっと一言

本機は、VHF / UHF帯の無線を使用した盗聴器の発信電波を受信するものです。
盗聴器はその性質上、発見が難しい場所や、「こんなものが」と思うものに設置されています。
発見が難しい場合や、危険を伴う恐れがある場合は、専門の調査機関に依頼してください。

④ 音声ガイド機能

特定エリアの受信時は音声でお知らせします。
音声ガイド機能は、必要に応じてON / OFFを切り替えられます。

操作方法

音声ガイド機能のON / OFFを切り替えます

音声ガイド機能のON / OFFを切り替えるには、**FUNC** ボタンを押し、続けて
7 GUI ボタンを押してください。

音声ガイド設定がONの時は液晶ディスプレイに"SET"、OFFの時は"RESET"
を表示します

⑤ バックライト点灯機能

• 一時点灯機能

LIGHT ボタンを押すと、液晶ディスプレイのバックライトが約5秒点灯
します。

• 連続点灯機能

FUNC ボタンを押し、次に**LIGHT** ボタンを押すと点灯し続けます。
再度、**FUNC** ボタンを押し、次に**LIGHT** ボタンを押すと、消灯します。

• 点灯色変更機能

バックライトの照明色を赤、青、紫の3種類から選択できます。

選択するには、**FUNC** ボタンを押します。

次に**エンコーダー**を回し、液晶画面に
"SELLED"を表示させます。

次に**ENTER** ボタンを押します。

エンコーダーを回してRED/BLUE/PURPLE
を選択して、**ENTER** ボタンで確定します。



⑥ オートスタート機能

オートサーチ時、チャンネル受信後、設定した時間経過するとサーチを開始します。

設定時間は、2秒、6秒、10秒から選択できます。

操作方法

1 オートスタートの設定をします

オートスタートの設定をするには、

FUNC ボタンを押し、続けて **1 AUTO** ボタンを押しします。

2 オートスタート開始時間を設定します

開始時間は **エンコーダー** で変更し、

ENTER ボタンで決定します。

3 オートサーチを開始します

オートサーチを開始するには、

START/STOP ボタンを押しします。

オートスタートが設定されていると、受信中でも一定時間後に自動でサーチを再開します。

オートスタートを解除するには、受信エリアを変更するか、**FUNC** ボタンを押し、次に **1 AUTO** ボタンを押しします。

ご注意 メモリーモードではオートスタートが設定されていません。

⑦ ブザー音ON/OFF機能

操作時のブザー音のON/OFFを切り替えるには、**FUNC** ボタンを押し、続いて **6 KT** ボタンを押しします。

ブザー音がONの時は液晶ディスプレイに“SET”、OFFの時は“RESET”を表示します。

⑧ 初期化機能

すべてのメモリー登録を消去し、工場出荷時の状態に戻すことができます。また、メモリーごとに個別に消去することもできます。

(1) 全消去

メモ **D** ~ **F** およびパスメモリー、プライオリティチャンネルを全て消去し、工場出荷時の状態にします。

※バンク **A** ~ **C** およびプライオリティ **00CH** は消去されません。

操作方法

1 全消去モードに入ります

全消去モードに入るには、**. / CLEAR** ボタンを押ししたまま電源を入れます。

全消去モードに入ると、液晶ディスプレイのバックライト点灯と同時に“ALLCLR”と表示されます。

2 **ENTER** ボタンを押し消去します

ENTER ボタンを押しすると、登録が消去されます。

消去したくない場合は、**. / CLEAR** ボタンを押しするか、約10秒間無操作が続くと全消去モードを終了します。

(2) メモリーバンク全消去

メモ **D** ~ **F** を初期化します。

操作方法

1 メモリーバンク全消去モードに入ります

メモリーバンク全消去モードに入るには、

MEMO / ▼ ボタンを押ししたまま電源を入れます。メモリーバンク全消去モードに入ると、液晶ディスプレイのバックライト点灯と同時に“CLRAR”と表示されます。

2 **ENTER** ボタンを押し消去します

ENTER ボタンを押しすると、登録が消去されます。

消去したくない場合は、**. / CLEAR** ボタンを押しするか、約10秒間無操作が続くと全消去モードを終了します。

(3) パスメモリ全消去

パスメモリを初期化します。

操作方法

1 パスメモリ全消去モードに入ります

パスメモリ全消去モードに入るには、

PASS/▲ ボタンを押したまま電源を入れます。
パスメモリ全消去モードに入ると、液晶ディスプレイのバックライト点灯と同時に“CLR PAS”と表示されます。



2 ENTER ボタンを押し消去します

ENTER ボタンを押すと、登録が消去されます。

消去したくない場合は、**JCLEAR** ボタンを押すか、約 10 秒間無操作が続くとパスメモリ全消去モードを終了します。

7. 登録済みの受信エリア

本機に登録済みの受信エリアは以下の通りです。

バンク	エリア番号	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネルステップ (kHz)	受信モード	ディレイ時間 (秒)
A	1	盗聴電波 9チャンネル	VHF 帯 /UHF 帯	5	FM	6
	2	盗聴電波 全チャンネル	VHF 帯 /UHF 帯	5	AM/FM	6
	3	小電力コードレス電話	380.2125 ~ 381.3125	12.5	FM	6
	4	アマチュア無線	VHF 帯 /UHF 帯 144.0000 ~ 146.0000 430.0000 ~ 440.0000	20	FM	6
	5	バチンコ無線 業務無線 (ファーストフード等)	421.5750 ~ 422.3000	12.5	FM	6
			440.0250 ~ 440.3625	25		
	6	ギャンブル無線	149.2900 ~ 154.6100	10	FM	6
			348.5625 ~ 468.8125	12.5		
	7	レース無線 サーキット無線	423.0000 ~ 424.1750	12.5	FM	6
			154.6100 414.7500 ~ 468.8125	10 12.5		
8	コンサートワッチ	322.0250 ~ 322.4000	25	FM	ホールド	
9	各種業務無線 簡易無線	148.7700 ~ 159.0500	10	FM	6	
		348.5625 ~ 469.7500	12.5			
0	タクシー無線	368.8250 ~ 453.3375	12.5	FM	6	
B	1	カーロケーター無線	407.7250	12.5	FM	オート
	2	交通取締連絡無線	350.1000	12.5	FM	6
	3	警察 VHF 移動局 (バトカー無線)	159.2750 ~ 160.5750	25	FM	オート
	4	警察部隊活動系	162.0500 ~ 162.6000	25	FM	オート
	5	警察署活系移動局	347.7125 ~ 362.2500	12.5	FM	オート
	6	取締特小無線 (シートベルト)	422.2750 ~ 422.3000	12.5	FM	オート
	7	ヘリコプター無線 (警察・消防・マスコミ)	122.3000 ~ 135.9500	25	AM	6
			340.7000 ~ 399.6500	12.5	FM	
	8	レッカー無線	154.4700 ~ 154.6100	10	FM	6
			465.0375 ~ 468.8375	12.5		
9	検問モード	バンク B エリア 1~8	—	—	—	
0	道路公団・JAF・警備	148.7700 ~ 154.0300	10	FM	6	
		357.3500 ~ 450.2375	12.5			

※ホールドとなっている受信エリアはディレイ時間が「HOLD」に設定してあります。

※オートとなっている受信エリアはオートスタートが2秒に設定してあります。

バンク	エリア番号	受信エリア	受信周波数範囲 (MHz)	チャンネルステップ (kHz)	受信モード	ディレイ時間 (秒)
C	1	バス・鉄道	142.1800 ~ 142.9200	10	FM	6
			143.8000 ~ 143.9800	20		
			146.1800 ~ 159.1700	10		
			336.0375 ~ 352.6250	12.5		
			352.6500 ~ 352.7500	25		
			364.3250 ~ 415.2000	12.5		
		電力・ガス・水道 (ライフライン)	65.0300 ~ 73.0950	5		
			146.0200 ~ 159.0900	10		
			364.5250 ~ 385.1500	12.5		
	2	FMラジオ放送	76.1000 ~ 89.9000	100	WFM	ホールド
	3	報道連絡波	65.3900 ~ 168.8700	10	FM	6
			364.9500 ~ 469.9750	25		
			164.6100 ~ 166.1300	10	WFM	
			462.5600 ~ 467.7200	10		
		特定小電力トランシーバー	421.5750 ~ 440.3625	12.5	FM	
	4	防災行政無線	65.0300 ~ 74.4750	-	FM	6
			143.2600 ~ 158.3500			
			364.7500 ~ 467.3750			
	5	航空無線	118.0000 ~ 142.0000	50	AM	6
			225.0000 ~ 368.2000	100		
6	消防・救急 (北海道地区)	146.8000 ~ 158.3500	10	FM	6	
		消防電話・消防ヘリ	341.4500 ~ 399.6500			
		消防署活系	466.4375 ~ 466.5500			
7	消防・救急 (東北-北陸地区)	143.5000 ~ 158.3500	10	FM	6	
		消防電話・消防ヘリ	341.4500 ~ 399.6500			
		消防署活系	466.3500			
8	消防・救急 (関東-東海地区)	146.0400 ~ 158.3500	10	FM	6	
		消防電話・消防ヘリ	341.4500 ~ 399.6500			
		消防署活系	466.3500 ~ 466.5500			
		新救急無線 (移動局)	371.1750 ~ 371.4125			
		東京消防庁 (基地局)	395.2750 ~ 395.5125			
9	消防・救急 (中部-近畿地区)	143.4000 ~ 158.3500	10	FM	6	
		消防電話・消防ヘリ	341.4500 ~ 399.6500			
		消防署活系	466.3500 ~ 466.5375			
0	消防・救急 (四国-中国-九州地区)	142.300 ~ 158.3500	10	FM	6	
		365.1500				
		消防電話・消防ヘリ	341.4500 ~ 399.6500			
	消防署活系	466.3500 ~ 466.5500				

8. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の内容をお確かめください。

症状	原因	処置
電源が入らない	・電池が消耗している	→ 新しい電池に交換する
	・シガープラグが奥まで入っていない	→ 一度抜いてから押し込む
受信しない	・音量が低い	→ 音量ボリュームを調整する
	・イヤホンが接続されている	→ イヤホンを抜く
音声が途切れる	・受信電波が弱い	→ 受信状態が良い場所に移動する
	・アッテネーターがONになっている	→ アッテネーターをOFFにする
	・プライオリティ受信をしている	→ プライオリティ受信を解除する
	・スケルチの設定が高い	→ スケルチの設定を調整する
受信音がおかしい	・受信モードが違う	→ 受信モードを切り替える
信号音を受信する	・制御信号やデジタル通信を受信している	→ 音声での受信はできません
オートサーチが止まらない	・スケルチの設定が高い	→ スケルチの設定を調整する

9. 主な仕様

- 電源電圧 DC9V 単四形乾電池6本
DC12V 外部電源
- 消費電流 待機時 70 mA 最大 200 mA (DC12V)
- 受信周波数 65 MHz ~ 470.0 MHz
- 受信電波形式 AM / FM / WFM
- 周波数ステップ 5/6.25/10/12.5/20/25/50/100KHz
- メモリー数 チャンネルメモリー 最大 400 チャンネル
エリアメモリー 最大 10 エリア
バスメモリー 最大 100 チャンネル
プライオリティ 最大 10 チャンネル
- アンテナインピーダンス 50Ω
- 受信感度 AM 4dBuV
FM -10dBuV
WFM 0dBuV
- 動作温度範囲 -10℃~+60℃ (一部動作は除く)
- 外形寸法 62 (W) × 99.5 (H) × 36 (D) / mm (突起部除く)
- 本体重量 147 g

オプション(別売品)

型番	品名	JANコード
FBC-117Li	Li-ion バッテリーパック 1200mA	JAN4515287-008350
FBC-117	急速充電器	JAN4515287-008367
FA-117	アンテナ	JAN4515287-008336
FA-100	マグネットアンテナ基台	JAN4515287-008381
DC-3	DCコード (3m)	JAN4515287-007353
AC-1	ACアダプター	JAN4515287-007377

◇保証規定

- 保証期間内 (お買い上げ日より1年間) に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、公害、異常電源 (電圧、周波数) およびその他天災地変による故障および損傷。
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合。
 - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は、日本国内において有効です。

◇保証・アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときは、操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理を依頼してください。
- 保証期間中は：
保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参ください。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは：
お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

※あらかじめご承知いただきたいこと

修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
また、出張による修理は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

保証書

この製品は、厳正な品質管理を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄にご記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

※製品名

マルチバンドレシーバー **FC-S117**

※保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

ご住所

お客様

TEL ()

お名前

販売店の

※販売店

TEL ()

株式会社 エフ・アール・シー

〒194-0035 東京都町田市忠生4-11-8

お問合せ先 MAIL:support@frc-net.co.jp

TEL:042-793-7746

FAX:042-793-7742